

運用状況レポート

【2025年3月31日現在】



この商品は、新規のご契約のお取扱いを停止させていただいており、一時投入保険料のお払込み（増額）のみのお取扱いとさせていただいております。一時投入保険料のお払込み（増額）をご検討いただく際には、必ず「特に重要なお知らせ」をあわせてご覧ください。

明治安田生命保険相互会社

ご契約の最新情報は

ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

お問い合わせは

コミュニケーションセンター



ようこそ ハロー
0120-453-860

ユニット方式

- ◆ 一時払変額個人年金保険（災害1割増型）では、日々変動するご契約者の持分（積立金：特別勘定資産のうち、ご契約にかかわる部分）を各特別勘定ごとに「ユニット価格」と「ユニット数（口数）」により管理します。

ユニット価格	・ ユニット価格は、特別勘定資産のユニット数（口数）1口の価格のことをいいます。 ・ 特別勘定設定時におけるユニット価格は、10,000円でスタートし、以降、特別勘定資産の評価を反映して日々計算されます。 ※ご契約ごとの一時払保険料や一時投入保険料で購入するユニット数（口数）を決定するユニット価格は、繰入日のユニット価格となりますので、個々のご契約に適用されるユニット価格が10,000円でスタートするわけではありません。 ・ 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。
ユニット数（口数）	・ ユニット数（口数）は、特別勘定資産のご契約者の保有分を表す単位のことをいいます。 ・ 例えば、「ユニット価格」が20,000円の特別勘定に保険料100万円を繰り入れた場合、50口の「ユニット数（口数）」を購入したことになります。 ・ ユニット数（口数）は、一時投入保険料の払込みや一部解約により増減します。 ・ 月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合は、保険契約維持費が同日の積立金から控除され、ユニット数（口数）が減少します。

積立金

- ◆ ご契約者の持分である積立金は、各特別勘定の個々のご契約の積立金の合計額で表されます。
- ◆ 各特別勘定の個々のご契約の積立金は、つぎの算式で計算されます。

$$\text{各特別勘定の個々のご契約の積立金} = \text{〔日々に定まる各特別勘定のユニット価格〕} \times \text{〔その時点で保有している特別勘定のユニット数（口数）〕}$$

□ 積立金の計算例（前提条件）

- ・ 一時払保険料 10,000,000円
- ・ 繰入日 10月1日
- ・ 繰り入れる特別勘定 A特別勘定
- ・ A特別勘定の10月1日のユニット価格 10,000円

		10月1日	11月1日	12月1日
保険料のA特別勘定への繰入れ		10,000,000円	0円	0円
ユニット価格（1口あたり）		10,000円	9,000円	12,000円
ユニット数（口数）	購入数	1,000口	0口	0口
	売却数	0口	0口	0口
	保有数	1,000口	1,000口	1,000口
積立金		10,000,000円	9,000,000円	12,000,000円

※月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合は、保険契約維持費が同日の積立金から控除され、ユニット数（口数）が減少します。

用語解説

当レポートの用語

組入比率	特別勘定または投資信託の資金のうち何%を、当該投資対象への投資にあてているかを表します。通常は、資金の出入りに備えて一定の現預金を保有するため、この比率は100%を下回ります。
基準価額	投資信託の純資産価額を口数で除した、一口あたりの評価額です。投資信託の運用実績を表していますが、特別勘定のユニット価格とは異なるものであり、両者の動きは完全には一致しません。
分配金	投資信託において、投資収益を還元するひとつの方法として分配された金銭をいいます。特別勘定では、受け取った分配金をただちに再投資し、投資信託を買い増します。
ベンチマーク	投資信託を運用・評価する際の基準となる指標のことです。
マザーファンド	投資信託の運用会社において、効率的な運用を実現するために設けられた仕組みです。たとえば、バランス型投資信託のうち日本株式部分を、日本株式型投資信託と合同で運用すれば効率的です。複数の投資信託の資金を合同で運用する受け皿がマザーファンドであり、集められた資金をもとに株式や債券などに投資を行ない、その成果を各投資信託に還元します。

- ◆ この保険では、保険料を国内外の株式や債券等に投資する特別勘定で運用し、その運用実績によって積立金額が変動（増減）するため、ご契約者は、経済情勢や運用状況によっては一定の収益を期待できますが、一方で株式その他有価証券の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクも負うことになります。運用実績によってはお受け取りになる返戻金額等が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ◆ 運用実績の評価は、プラスの場合もマイナスの場合も、直接、死亡給付金額、返戻金額および将来の年金受取額等に反映され、すべての投資リスクはご契約者に帰属いたします。
- ◆ 特別勘定における資産運用では、主に以下の投資リスクがあります。

投資リスクの種類	投資リスクの内容
①価格変動リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、有価証券の市場価格の変動を反映するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
②金利変動リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、政策金利や市場金利が変動することにより公社債等の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
③為替リスク	外貨建資産に対して投資する特別勘定では、運用資産の評価に使用する為替レートが変動することにより外貨建資産の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。また、為替ヘッジを行なう場合、円とヘッジ対象通貨との金利差相当額分のヘッジ・コストがかかります。
④信用リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの発行体が、経営状況および財政状況の悪化や倒産等の理由により、利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなることがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑤流動性リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、流動性の低い株式や債券を売買する場合、売買を希望する時期に市場実勢から期待される適正な価格や希望する数量で売却できないことがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑥カントリーリスク	海外の株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの投資対象国の政治・経済・社会状況の不安定化に伴う金融・証券市場の混乱により、投資対象国の資産価格が大きく変動することがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。

特別勘定の種類と運用方針について

- ◆ 特別勘定の種類と各特別勘定で投資を予定している投資信託は当社が定めます。特別勘定では投資信託のほか、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- ◆ 特別勘定の種類と特別勘定の運用方針については、今後変更することがあります。

特別勘定の種類 コード	運用方針	資産運用関係費 (投資信託の信託報酬) (年率) 投資信託委託会社	組入れ投資信託の特色・主な投資リスク
バランス型 (株式20) 0401	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV20VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	実質1.06843%程度 (税抜実質0.97%程度) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社※	ファンド・オブ・ファンズ型の投資信託です。国内外の株式または公社債を主要投資対象とする、複数の投資信託証券に投資します。これらの投資信託は様々な運用スタイルをとる世界中の優れた運用会社に分散して運用委託されています。こうして投資対象資産と運用スタイルを分散することにより、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図ることを目標として運用を行ないます。基準ポートフォリオは右記のとおりです。価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。
バランス型 (株式40) 0402	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV40VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	実質1.16303%程度 (税抜実質1.06%程度) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本株式：30% 外国株式（為替ヘッジなし）：10% 日本債券・短期金融資産：30% 外国債券（為替ヘッジあり）：25% 外国債券（為替ヘッジなし）：5%
バランス型 (株式80) 0403	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	実質1.35223%程度 (税抜実質1.23%程度) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本株式：55% 外国株式（為替ヘッジなし）：25% 日本債券・短期金融資産：10% 外国債券（為替ヘッジあり）：5% 外国債券（為替ヘッジなし）：5%
日本株式型 0405	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.385% (税抜0.35%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本国内の株式に投資し、市場全体の動きをとりえて、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。日本株式の価格変動リスク等があります。
外国株式型 0407	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.495% (税抜0.45%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本を除く世界各国の株式に投資し、ベンチマーク（MSCIロクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。原則として為替ヘッジを行ないません。外国株式の価格変動リスク、為替リスク等があります。
日本債券型 0409	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.275% (税抜0.25%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本国内の公社債に投資し、ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。日本債券の金利変動リスク、信用リスク等があります。
外国債券型 0411	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行ないます。	0.385% (税抜0.35%) 三菱UFJアセット マネジメント株式会社	日本を除く世界各国の公社債に投資し、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース））に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。原則として為替ヘッジを行ないません。外国債券の金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。
マネー型 0412	コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。なお当該特別勘定では、当社が直接運用します。	資産運用関係費は かかりません —	—

資産運用関係費について

- 資産運用関係費は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。投資信託の信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して上記の所定の率を乗じたものです。また資産運用関係費には、信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかります。
- バランス型（株式20）、バランス型（株式40）、バランス型（株式80）に組み入れる各投資信託（三菱UFJ MV20VA、三菱UFJ MV40VA、三菱UFJ MV80VA）はファンド・オブ・ファンズ型の投資信託であるため、それ自身の信託報酬（各々、年率0.2805%（税抜0.255%））に加えて、投資対象となる各投資信託においても信託報酬がかかります。上表では両者を合わせた年率を表示しております。
- 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。
- 資産運用関係費については、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

組入れ投資信託の詳細について

- マネー型を除く各特別勘定に組み入れる投資信託の基本的性格、投資方針、投資リスク等については、「特別勘定のしおり」に記載しております。

マネー型について

- マネー型が投資する安全性の高い短期金融資産は一般的に利回りが低いため、保険契約関係費を控除した後の積立金が継続的に減少することがあります。

特別勘定群について

- 一時払変額個人年金保険（災害1割増型）では、複数の特別勘定を含む特別勘定群を設定しています。
- 一時払変額個人年金保険（災害1割増型）の特別勘定群に含まれる特別勘定は前記のとおりです。ご契約の際、および特別勘定部分の積立金の移転の際にご選択いただける特別勘定は、前記の特別勘定および今後当社が本特別勘定群に追加する特別勘定に限りです。
- 当社の変額個人年金保険商品には、本特別勘定群とは異なる特別勘定群を設定した商品などがあります。詳細はコミュニケーションセンターにご照会いただくか、当社ホームページにてご確認ください。

※三菱UFJ国際投信株式会社は2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

保険契約関係費などの諸費用について

◆ 据置期間中の費用や年金支払期間中の費用など契約者にご負担いただく費用があります。

1. 年金開始日前の費用

(ア) すべてのご契約者にご負担いただく費用

● 次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項 目	目 的	費 用	時 期
保険契約関係費	死亡給付金・災害死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用	特別勘定の資産総額に対して、年率1.450%	特別勘定の資産総額に対して、年率1.450%/365日を毎日控除します
資産運用関係費	特別勘定の運用にかかわる費用です。投資信託の信託報酬や信託事務の諸費用等を含みます	各特別勘定において利用する投資信託により異なります。詳しくは、 特別勘定の種類と運用方針 についてをご覧ください。	投資信託の信託報酬は、各特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、所定の率を乗じた金額を毎日控除します

※資産運用関係費は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。また、投資信託の信託報酬の他にも、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金など特別勘定の運用に係る費用等が控除されます。信託報酬以外のこれらの諸経費等については、投資信託委託会社における運用により発生し、その運用方法によって変動することから、費用の発生前にその金額や割合などを確定させることが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニット価格に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※資産運用関係費は、運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

(イ) 特定の場合にご負担いただく費用

● 特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

項 目	ご負担いただく場合	費 用	時 期
保険契約維持費	月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合	毎月400円	月単位の契約応当日の前日に積立金から控除します
解約控除	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から解約日・一部解約日の翌営業日までの経過年数が10年未満の解約または一部解約の場合（契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から10年以上経過後に解約・一部解約する場合には解約控除はありません）	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）からの経過年数に応じ、既払込保険料相当額に対して6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額	解約・一部解約時にお支払いする積立金から控除します

2. 年金開始日以後の費用

項 目	費 用	時 期
保険契約関係費	年金年額に対して1.0%*	年金開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します

* 上記の率は、将来変更となる可能性があります。

ご契約者にご負担いただく諸費用の合計額は、上記の「保険契約関係費」と「資産運用関係費」の合計です。
 なお、既払込保険料相当額が200万円未満の場合には「保険契約維持費」、契約日から10年未満の解約・一部解約の場合には「解約控除」がかかります。

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

バランス型(株式20)

コード:0401

明治安田生命保険相互会社

・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。

・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。

・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。

また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.55%、設定来で+21.64%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	12,164.40206556	直近1カ月	-0.55%
2025年2月末	12,231.46013705	直近3カ月	-1.62%
2025年1月末	12,321.34425425	直近6カ月	-3.29%
2024年12月末	12,365.16154737	直近1年	-3.75%
2024年11月末	12,363.78522991	直近3年	-5.00%
2024年10月末	12,410.22172603	設定来	+21.64%

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	27	97.6
短期金融資産等	0	2.4
合計	27	100.0

・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。

また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)

設定・運用：
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、3ページ後以降をご参照ください。

組入れております投資信託は複数の資産に投資いたしますので、はじめに全資産を総合した運用状況を、次に各資産別の運用状況を掲載しております。

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

バランス型(株式40)

コード:0402

明治安田生命保険相互会社

・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。

・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。
また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.34%、設定来で+71.61%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	17,161.09825322	直近1カ月	-0.34%
2025年2月末	17,219.42241938	直近3カ月	-1.98%
2025年1月末	17,429.38337539	直近6カ月	-2.22%
2024年12月末	17,506.98253094	直近1年	-2.48%
2024年11月末	17,337.73282692	直近3年	+4.95%
2024年10月末	17,402.47799340	設定来	+71.61%

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	35	98.1
短期金融資産等	0	1.9
合計	35	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
 - ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。
- また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)

設定・運用：
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、2ページ後以降をご参照ください。

組入れております投資信託は複数の資産に投資いたしますので、はじめに全資産を総合した運用状況を、次に各資産別の運用状況を掲載しております。

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

バランス型(株式80)

コード:0403

明治安田生命保険相互会社

・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。

・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。
- また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.17%、設定来で+212.30%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	31,230.11058773	直近1カ月	-0.17%
2025年2月末	31,284.41996522	直近3カ月	-2.33%
2025年1月末	31,992.29778540	直近6カ月	+1.05%
2024年12月末	31,975.58969729	直近1年	-2.45%
2024年11月末	31,116.69075002	直近3年	+26.28%
2024年10月末	30,952.09253957	設定来	+212.30%

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	85	95.8
短期金融資産等	3	4.2
合計	89	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。
- また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

設定・運用：
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。

組入れております投資信託は複数の資産に投資いたしますので、はじめに全資産を総合した運用状況を、次に各資産別の運用状況を掲載しております。

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

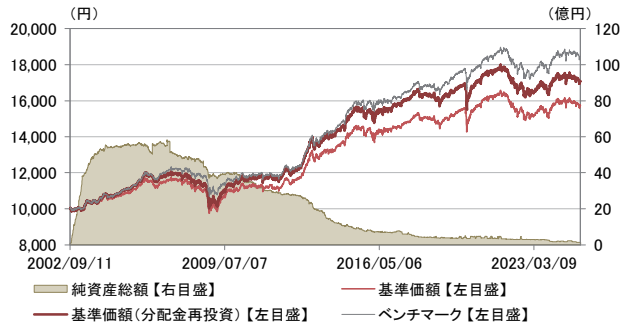
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

■商品概要

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・ベンチマークは、配当込みTOPIX15%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本、円換算ベース 配当込み)5%、NOMURA-BPI総合指数39%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)35%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。

・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.4%	-1.3%	-2.7%	-2.4%	-0.8%	70.8%
ベンチマーク	-0.5%	-1.5%	-2.0%	-1.7%	0.8%	84.4%

■純資産総額

純資産総額	1.35億円
前月末比	-0.01億円

■資産構成

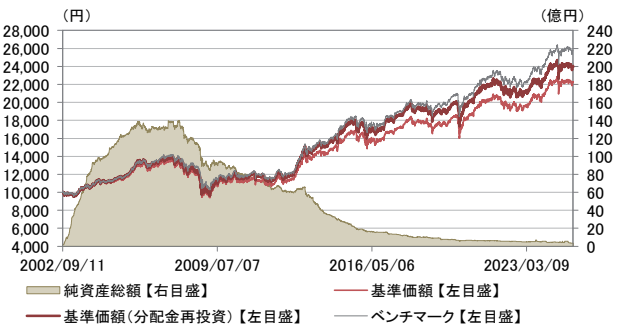
	比率
日本株式	14.1%
日本債券	39.0%
外国株式	4.2%
外国債券(為替ヘッジあり)	34.9%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.5%
コールローン他	3.3%

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
設定来累計		1,000円

三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・ベンチマークは、配当込みTOPIX30%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本、円換算ベース 配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数29%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)25%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。

・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.2%	-1.7%	-1.5%	-1.1%	10.2%	139.6%
ベンチマーク	-0.2%	-1.8%	-0.8%	-0.2%	12.3%	157.3%

■純資産総額

純資産総額	3.41億円
前月末比	-0.01億円

■資産構成

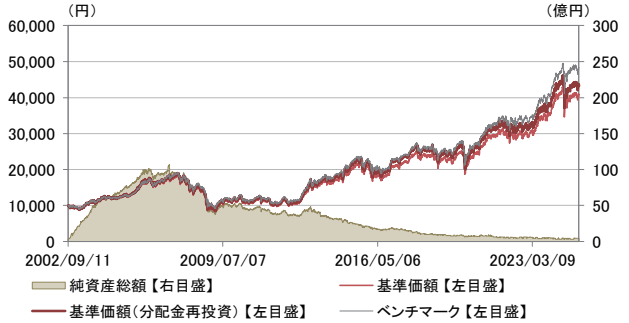
	比率
日本株式	29.7%
日本債券	29.1%
外国株式	9.5%
外国債券(為替ヘッジあり)	24.9%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.8%
コールローン他	2.0%

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
設定来累計		1,000円

三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・ベンチマークは、配当込みTOPIX55%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本、円換算ベース 配当込み)25%、NOMURA-BPI総合指数9%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)5%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。

・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.1%	-2.1%	1.9%	-1.0%	32.7%	332.3%
ベンチマーク	0.0%	-2.7%	1.5%	2.8%	38.8%	378.2%

■純資産総額

純資産総額	4.14億円
前月末比	-0.28億円

■資産構成

	比率
日本株式	54.8%
日本債券	8.9%
外国株式	24.5%
外国債券(為替ヘッジあり)	4.9%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.9%
コールローン他	2.1%

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
設定来累計		1,000円

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- ・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有してはなりません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- ・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

【市場の動き】

3月の海外株式相場は下落しました。米国では、2月の非農業部門雇用者数は前月比15万1千人増となり、失業率は4.1%と前月から0.1ポイント上昇しました。2月の消費者物価指数(CPI)は、前年同月比で2.8%の上昇となりました。米連邦公開市場委員会(FOMC)では、政策金利を据え置きました。欧州では、2月のユーロ圏の消費者物価指数(HICP)の速報値は、前年同月比2.4%上昇しました。3月のドイツのIFO企業景況感指数は、前月から上昇しました。欧州中央銀行(ECB)は、政策金利を0.25%ポイント引き下げて2.5%としました。こうした環境下、米国では、トランプ米大統領による強硬な関税政策を背景に景気への懸念が一段と強まったことから下落し、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。欧州では、米国株安、米国の関税政策による景気への懸念等を背景に下落し、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。

国内株式相場は上昇しました。月前半は小動きで、後半は円安、米国の関税政策への懸念後退等から上昇しました。月末近くには米国株安、米国の関税政策による景気への懸念等を受けて下落しましたが、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

海外債券相場は全体では下落しました。前月末に4.2%台前半であった米国10年物国債利回りは、ドイツの長期金利の上昇、米国の関税政策によるインフレ懸念等から上昇基調で推移しました。月末近くに米国株安や関税政策による景気への懸念等から低下し、最終的に4.2%台前半で月を終えました。前月末に2.4%台前半であったドイツ10年物国債利回りは、上旬にドイツの国防費増による財政拡大懸念から急上昇しました。中旬以降は米国の関税政策への懸念や欧米株の下落等を受けて低下しましたが、最終的に2.7%台前半で月を終えました。

国内債券相場も下落しました。前月末に1.3%台後半であった10年物国債利回りは、欧米の長期金利の上昇、日銀の早期利上げ観測等から上昇基調となりました。月末近くには、欧米の株安や長期金利の低下等を受けて低下し、最終的に1.4%台後半で月を終えました。

為替市場では、米ドルが米国の景気への懸念等を受けて下落しました。一方、ユーロは財政支出拡大観測等による長期金利の上昇等を背景に堅調となり、米ドル/円相場は0.8%の円高、ユーロ/円相場は3.1%の円安となりました。

【ラッセル・インベストメント グループ】

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。

グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っており、現在当グループの運用資産総額は約52兆円※となっています。(※ 2024年12月末現在、為替換算レート:157.16円/ドル。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。)

【ラッセル・インベストメント株式会社】

これまでラッセル・インベストメントグループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

・配当込みTOPIXとは、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。配当込みTOPIXの指数値及び配当込みTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など配当込みTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及び配当込みTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・MSCIコクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)は、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 米ドルベース 配当込み)をもとに、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

・NOMURA-BPI総合指数とは、野村フィチュアリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)ならびにFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注)各合成ベンチマークの計算にあたっては、三菱UFJアセットマネジメント株式会社において、ファンドにおける組入資産・為替の評価時点にあわせて計算を行います。

明治安田生命 一時払変額個人年金保険(災害1割増型) 運用状況レポート

《参考情報》 特別勘定 バランス型(株式20)・(株式40)・(株式80) 組入れ投資信託の運用概況

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2000年12月21日

(2025年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初末
ファンド	259.9%	-2.2%	-2.8%
ベンチマーク	236.0%	-1.5%	-2.1%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	0.7%	-3.9%	-0.1%
ベンチマーク	1.8%	-3.4%	0.2%
組入銘柄数		393 銘柄	

株式保有上位10銘柄

銘柄	業種	組入比率※1
ソニーグループ	電気機器	3.9%
オリックス	その他金融業	2.8%
日立製作所	電気機器	2.7%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.6%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.4%
セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.4%
リクルートホールディングス	サービス業	1.8%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.7%
東京海上ホールディングス	保険業	1.7%
日本電信電話	情報・通信業	1.7%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

3.運用状況

3月の国内株式相場は上昇しました(TOPIX(配当込み)は前月末比0.2%上昇)。こうした中、ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡの基準価額は前月末比0.1%下落しました。国内株式相場は、月前半は小動きで、後半は円安、米国の関税政策への懸念後退等から上昇しました。月末近くには米国株安、米国の関税政策による景気への懸念等を受けて下落しましたが、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。Russell/Nomuraグロース指数は前月比1.5%下落、同バリュース指数は1.5%上昇し、バリュースがグロースを上回りました。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2000年12月21日

(2025年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初末
ファンド	563.3%	5.3%	-5.1%
ベンチマーク	680.3%	6.8%	-7.1%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	3.4%	-6.9%	-3.2%
ベンチマーク	2.8%	-6.6%	-5.4%
組入銘柄数		499 銘柄	

株式保有上位10銘柄

銘柄	通貨	組入比率※1
MICROSOFT CORP	USD	3.1%
META PLATFORMS INC-CLASS A	USD	2.6%
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	USD	2.2%
APPLE INC	USD	2.0%
MASTERCARD INC - A	USD	1.9%
ALPHABET INC-CL A	USD	1.8%
AMAZON.COM INC	USD	1.8%
NVIDIA CORP	USD	1.2%
AUTOZONE INC	USD	1.2%
UNITEDHEALTH GROUP INC	USD	1.2%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

3.運用状況

3月の海外株式相場は下落しました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比5.4%下落)。こうした中、ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡの基準価額は前月末比3.2%下落しました。海外株式相場は、米国では、トランプ米大統領による強硬な関税政策を背景に景気への懸念が一段と強まったことから下落し、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。欧州では、米国株安、米国の関税政策による景気への懸念等を背景に下落し、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場は0.8%の円高、ユーロ/円相場は3.1%の円安となりました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)及びラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)に関するもので、上位10業種の配分、地域別配分、株式保有上位10銘柄、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド及び、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドについての記述です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績あるいは将来の成果を保証するものではありません。

・三菱UFJ MV20VA／MV40VA／MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

明治安田生命 一時払変額個人年金保険(災害1割増型) 運用状況レポート

《参考情報》 特別勘定 バランス型(株式20)・(株式40)・(株式80) 組入れ投資信託の運用概況

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有してはなりません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2002年9月12日

(2025年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	12.9%	-4.5%	-2.3%
ベンチマーク	18.9%	-4.7%	-2.5%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	-3.3%	-2.1%	-1.0%
ベンチマーク	-3.6%	-2.4%	-1.0%

ベンチマーク:NOMURA-BPI総合指数
NOMURA-BPI 総合指数は、野村フィデュシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社(以下「NFRG」といいます。))が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPI は、NFRGが作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はNFRGに帰属しています。また、NFRGは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

3.運用状況

3月の国内債券相場は下落しました(NOMURA-BPI総合指数は前月末比1.0%下落)。こうした中、ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢの基準価額は前月末比1.0%下落しました。国内債券相場は、欧米の長期金利の上昇、日銀の早期利上げ観測等から下落基調となりました。月末近くには、欧米の株安や長期金利の低下等を受けて上昇しましたが、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

1.運用成果

Aコース

設定日 2002年9月12日

(2025年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	26.0%	-2.9%	-1.4%
ベンチマーク	27.9%	-1.3%	-1.2%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	-4.2%	0.7%	-0.3%
ベンチマーク	-2.4%	0.2%	-0.8%

Bコース

設定日 2002年9月12日

(2025年3月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	160.7%	1.1%	-0.8%
ベンチマーク	159.1%	1.8%	-1.1%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	1.3%	-2.5%	1.4%
ベンチマーク	2.1%	-2.3%	0.1%

3.運用状況

3月の海外債券相場は全体では下落しました(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は円安のため前月末比0.1%上昇)。こうした中、ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢの基準価額はAコースで前月末比0.3%の下落、Bコースで1.4%の上昇となりました。海外債券相場は、米国ではドイツの長期金利の上昇、米国の関税政策によるインフレ懸念等から下落基調で推移しました。月末近くに米国株安や関税政策による景気への懸念等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州は上旬にドイツの国防費増による財政拡大懸念から急落しました。中旬以降は米国の関税政策への懸念や欧米株の下落等を受けて上昇しましたが、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場は0.8%の円高、ユーロ/円相場は3.1%の円安となりました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)及び、ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)に関するもので、種別配分、地域別配分、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド及び、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドについての記述です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

2.ファンドの内容

種別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2025年3月末)			
種別	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
国債	62.6%	84.8%	-1.0%
地方債	13.8%	5.9%	-0.9%
政保債	0.0%	1.2%	-1.1%
金融債	0.0%	0.3%	-0.1%
事業債	16.0%	6.2%	-0.6%
円建外債	3.6%	0.4%	-0.0%
MBS／ABS	2.3%	1.2%	-1.1%
その他	1.8%	--	--

※1 組入比率は債券及び投資信託の評価額合計に対する割合

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
ウエスタン・アセット・マネジメント	広範囲型	50.0%
アセットマネジメントOne	広範囲型	50.0%

2.ファンドの内容

地域別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2025年3月末)				
地域	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率 (ヘッジあり)	ベンチマーク収益率 (ヘッジなし)
北米地域	54.4%	49.4%	-0.1%	-0.6%
ユーロ地域	21.5%	29.4%	-2.1%	1.2%
ユーロ除く欧州	8.7%	6.5%	-1.5%	0.9%
その他	15.3%	14.8%	-0.3%	-0.5%

※1 組入比率は債券及び先物等の評価額合計に対する割合

ベンチマーク:Aコース:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

Bコース:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLOIにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。当該インデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLOIは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。当該インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLOIに帰属します。

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
コレチエスター・グローバル・インベスターズ	マクロ・バリュー型	30.0%
インサイト・インベストメント・マネジメント	広範囲型	70.0%
インサイト・ノースアメリカ(再委託)(注)		

(注)インサイト・インベストメント・マネジメントは、運用の指図にかかる権限の一部をインサイト・ノースアメリカに再委託します。

・三菱UFJ MV20VA・MV40VA・MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

明治安田生命 一時払変額個人年金保険(災害1割増型) 運用状況レポート 《参考情報》特別勘定 バランス型(株式20)・(株式40)・(株式80) 組入れ投資信託の運用概況	2025年3月31日現在 設定・運用 三菱UFJアセットマネジメント株式会社
三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)	
・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。 ・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有してはなりません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。 ・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。 ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。	

三菱UFJ MV20／40／80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
＜ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド＞ ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンドは、国内の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。グロース型、バリュエーション型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
グロース型：アセットマネジメントOne(日本)(投資助言) アセットマネジメントOneは、今後数年で大きな利益成長を遂げると考える企業に投資します。マクロ状況・投資家動向への理解が深く、ボトムアップでの銘柄選択に加えて、ポートフォリオ構築のエッセンスになっています。なお、アセットマネジメントOneの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズが運用の指図を行います。
グロース型：ポリマー・キャピタル・ジャパン(ケイマン)(投資助言) ポリマーは、運用担当者自身が行うボトムアップの銘柄リサーチにより、市場平均を上回る本質的な成長を生み出すことができる企業の特定に重点を置き、中小型株の高成長の機会の発掘とともに、大型株も含めたビジネス、産業、市場の循環性の見極め・評価を活かしたポートフォリオ運営を行います。なお、ポリマーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズが運用の指図を行います。
バリュエーション型：SOMPOアセットマネジメント(日本)(投資助言) SOMPOは、「ノーマル収益力」(企業の本質的かつ恒常的な収益力)という概念をベースにした中長期ファンダメンタルズに基づく投資価値を、配当割引モデルをベースにした独自のバリュエーションモデルで算出し、割安度の高い銘柄を中心に投資します。厳格な売却規律を持ち、目標株価を達成した銘柄は速やかに売却します。なお、SOMPOの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズが運用の指図を行います。
バリュエーション型：ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズ(米国) ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、低PBR(株価純資産倍率)銘柄を中心としたポートフォリオ(ディープ・バリュエーション)を構築することにより、ファンドの低PBR特性を補強します。
マーケット・オリエンテッド型：スパークス・アセット・マネジメント(日本)(投資助言) スパークスは、高い技術力やブランド力があり、グローバルでの活躍が今後も期待できる企業に投資します。銘柄を厳選するため、保有銘柄は少数に絞られ、非常に集中したポートフォリオとなります。なお、スパークスの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズが運用の指図を行います。
マーケット・オリエンテッド型：M&Gインベストメンツ(米国)(投資助言) M&Gは、ファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップでの投資対象銘柄の選定を行っており、個々の企業にとって最も重要なKPI(重要業績評価指標)の特定、現在の株価と本来価値とのギャップの要因の特定を重視します。また、シナリオ分析に基づく精度の高い収益予想に注力することによって投資確信度を高めることが可能であるとの投資哲学の下、リスク管理を適切に行いながら、超過収益確信度の高い銘柄群でリスクをとるポートフォリオ構築を志向しています。なお、M&Gの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズが運用の指図を行います。
ポートフォリオ特性補強型：ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズ(米国) ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリュエーション・クオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
＜ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド＞ ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンドは、日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
広範囲型 ウエスタン・アセット・マネジメント(日本) ウエスタンは、グローバルに展開する債券特化型の運用会社です。デュレーション(金利感応度)戦略やイールドカーブ(利回り曲線)戦略などの金利戦略においては、グローバルな視野と高い調査能力を活かし、マクロ経済から需給関係まで精緻な分析により投資を行います。また、クレジット戦略においては、同社が有するグローバルなクレジット調査体制を生かし、サムライ債等のセクター戦略および個別銘柄選択を強みとしています。
広範囲型 アセットマネジメントOne(日本) アセットマネジメントOneは金利、クレジット/セクターの両戦略において、安定した超過収益の獲得を目指します。金利戦略部分では、投資家行動や需給分析に強みがあり、その分析能力を基に極めて短期的なポジションを機動的に数多く取ることで、超過収益の積み上げを図ります。クレジット/セクター戦略部分では、クレジットアナリストが定性、定量両面から精緻な信用力分析を行い、ポートフォリオ・マネージャーが個別銘柄選択を行います。また、投資ユニバースの拡充にも積極的です。

・各ファンドの運用会社構成は、ラッセル・インベストメント・グループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更される事があります。
・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

明治安田生命 一時払変額個人年金保険(災害1割増型) 運用状況レポート 《参考情報》 特別勘定 バランス型(株式20)・(株式40)・(株式80) 組入れ投資信託の運用概況	2025年3月31日現在 設定・運用 三菱UFJアセットマネジメント株式会社
三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)	
・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。 ・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。 ・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。 ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。	

三菱UFJ MV20／40／80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
＜ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド＞ ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。グロース型、バリュエ型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉と運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
グロース型 パインストーン・アセット・マネジメント(カナダ)(投資助言) パインストーンは、ROIC(投下資本利益率)やROE(自己資本利益率)、EVA(経済的付加価値)を重視して、高クオリティで合理的なバリュエーションを備えた成長性の高い銘柄をボトムアップ・アプローチで選別します。また、ファンダメンタルズ分析では、企業の持つ競争力や参入障壁、経営陣の質などを重視します。なお、パインストーンの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
グロース型 モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント(米国)(投資助言) モルガン・スタンレーは、ROIC(投下資本利益率)やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ベンチマークはあまり意識せず、新興国株式を含め、比較的銘柄数を絞ったポートフォリオを構築します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
バリュエ型 サンダース・キャピタル(米国)(投資助言) サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業の持つ本質的企業価値に対して大きく割安であると判断する銘柄を選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
バリュエ型 ブジーナ・インベストメント・マネジメント(米国)(投資助言) ブジーナは、各セクターに精通した社内アナリストが質の高いボトムアップ・リサーチを行い、収益力・バリュエーションの低下が一時的な要因が構造的な要因かを見極め、一時的な要因が解消した後に収益力・バリュエーションの回復が期待される銘柄に投資することで高い超過収益の獲得を目指します。なお、ブジーナの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
マーケット・オリエンテッド型 ニューメリック・インベスターズ(米国)(投資助言) ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたリサーチ陣容や経験豊富で優秀なポートフォリオ・マネージャーを備えており、バリュエーション、業績予想修正、株価モメンタム等の有効なファクターをバランス良く的確に捉える運用モデルを活用して、超過収益の獲得を目指します。なお、ニューメリックの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。
ポートフォリオ特性補強型 ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国) ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリュエやクオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)
ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。
＜ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド＞ ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース))を上回ることを目標として運用を行います。当ファンドの大部分は国債や、高い格付けの債券に投資されます。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉と運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。 ペビーファンドのベンチマークはそれぞれ下記の通りです。 Aコース(為替ヘッジあり): FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース) Bコース(為替ヘッジなし): FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) Aコースは原則として為替ヘッジ(運用会社:ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。
マクロ・バリュエ型 コルチェスター・グローバル・インベスターズ(英国) コルチェスターの運用スタイルは、各国の経済情勢や財政の健全性などのマクロ分析を通じて、相対的に高いリターンが見込める、割安感の強い国の債券および通貨を発掘するというものです。割安であるか否かの判断は、実質金利や購買力平価などを予測する同社独自の定量モデルを用いて行われ、この結果に定性判断を加味することにより国別および通貨別の配分が決定されます。
広範囲型 インサイト・インベストメント・マネジメント(英国)／インサイト・ノースアメリカ(米国)(再委託) インサイトは、特定の戦略に偏ることなく、国別配分、種別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった、あらゆる超過収益源泉をカバーし、市場環境の変化に合わせて柔軟に投資する運用能力を有しています。なお、インサイト・インベストメント・マネジメント(英国)は、運用の指図にかかる権限の一部をインサイト・ノースアメリカ(米国)に再委託します。

・各ファンドの運用会社構成は、ラッセル・インベストメント・グループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更される事があります。
・三菱UFJ MV20VA／MV40VA／MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

日本株式型

コード:0405

明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+0.04%、設定来で+194.17%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	29,417.10807204	直近1カ月	+0.04%
2025年2月末	29,404.60266268	直近3カ月	-3.78%
2025年1月末	30,553.91980824	直近6カ月	+0.95%
2024年12月末	30,573.70966983	直近1年	-3.22%
2024年11月末	29,445.41669792	直近3年	+38.24%
2024年10月末	29,638.70370818	設定来	+194.17%

- ・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
- ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	64	95.7
短期金融資産等	2	4.3
合計	67	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA (適格機関投資家限定) 設定・運用: 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

三菱UFJトピックスインデックスファンドVA(適格機関投資家限定)

設定・運用

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。

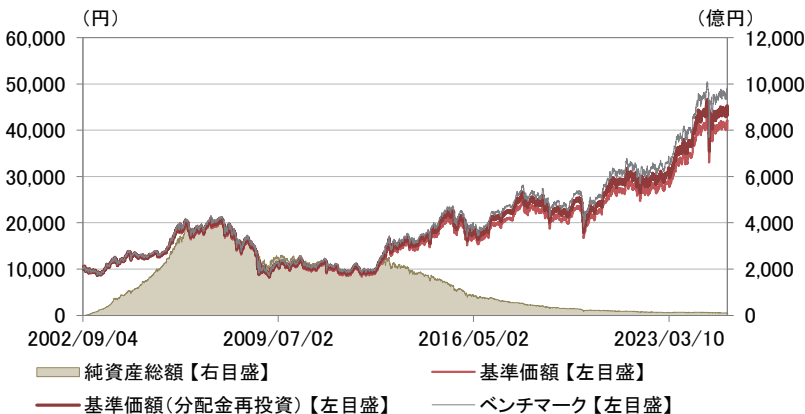
・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

■商品概要

主要投資対象	TOPIXマザーファンド受益証券(日本の株式に直接投資することもあります。)
運用方針	①TOPIXマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(東証株価指数(TOPIX)(配当込み))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②TOPIXマザーファンドは、日本の株式を主要投資対象とします。 ③主にTOPIXマザーファンド受益証券に投資しますが、日本の株式に直接投資することもあります。 ④株式以外への資産の投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.385%(税抜 年率0.35%)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.2%	-3.5%	1.6%	-1.9%	45.6%	332.2%
ベンチマーク	0.2%	-3.4%	1.8%	-1.5%	47.2%	368.9%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 電気機器	17.0%	17.4%
2 銀行業	9.3%	9.5%
3 情報・通信業	7.4%	7.6%
4 輸送用機器	7.1%	7.2%
5 卸売業	6.6%	6.7%
6 機械	5.5%	5.6%
7 化学	4.8%	4.9%
8 サービス業	4.5%	4.6%
9 小売業	4.4%	4.5%
10 医薬品	4.1%	4.2%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,691銘柄				
銘柄	業種	比率	ベンチマーク 構成比	
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%	3.7%	
2 ソニーグループ	電気機器	3.4%	3.4%	
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.3%	3.4%	
4 日立製作所	電気機器	2.3%	2.3%	
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.0%	2.0%	
6 任天堂	その他製品	1.7%	1.7%	
7 リクルートホールディングス	サービス業	1.6%	1.6%	
8 キーエンス	電気機器	1.5%	1.5%	
9 東京海上ホールディングス	保険業	1.4%	1.5%	
10 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.4%	1.4%	

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	40,295円
前月末比	+71円
純資産総額	93.45億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
実質国内株式	99.5%
内 現物	97.9%
内 先物	1.6%
コールローン他	0.5%

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

外国株式型

コード:0407

明治安田生命保険相互会社

・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

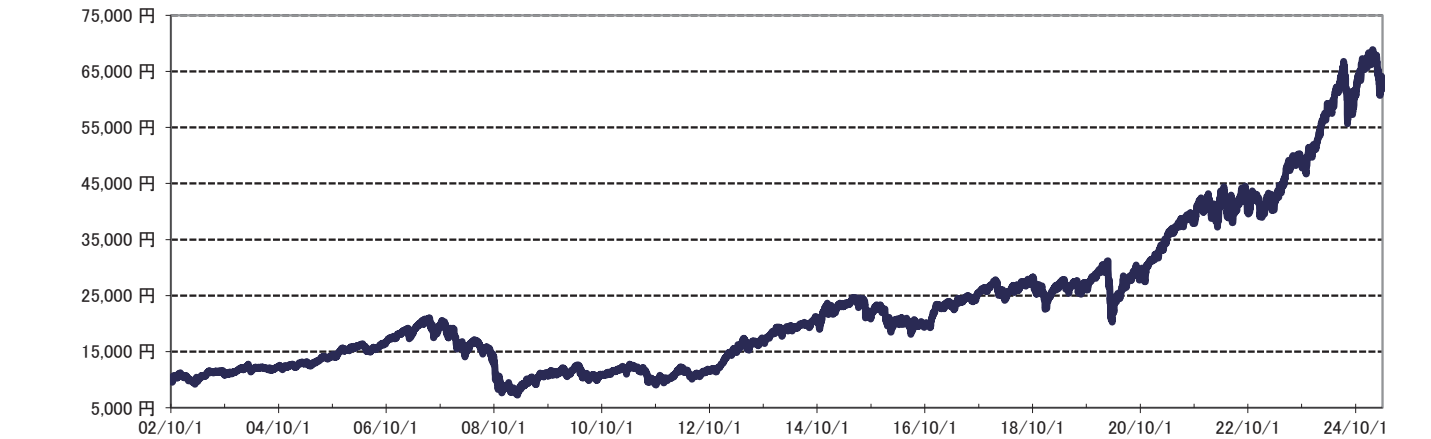
・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。

・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国株式ファンドVA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。
- ・また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-3.71%、設定来で+518.14%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	61,814.13266979	直近1カ月	-3.71%
2025年2月末	64,194.81611462	直近3カ月	-8.81%
2025年1月末	67,820.45978721	直近6カ月	+1.96%
2024年12月末	67,784.67669861	直近1年	+4.27%
2024年11月末	65,325.74910257	直近3年	+42.27%
2024年10月末	65,038.22946028	設定来	+518.14%

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	204	99.0
短期金融資産等	2	1.0
合計	206	100.0

・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。

また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
三菱UFJ 外国株式ファンドVA
(適格機関投資家限定)

設定・運用：
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）

設定・運用

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

■商品概要

主要投資対象 外国株式インデックスマザーファンド受益証券(外国の株式に直接投資することもあります。)

運用方針

①外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。

②外国株式インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。

③日本を除く世界主要国の株式に直接投資することもできます。

④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。

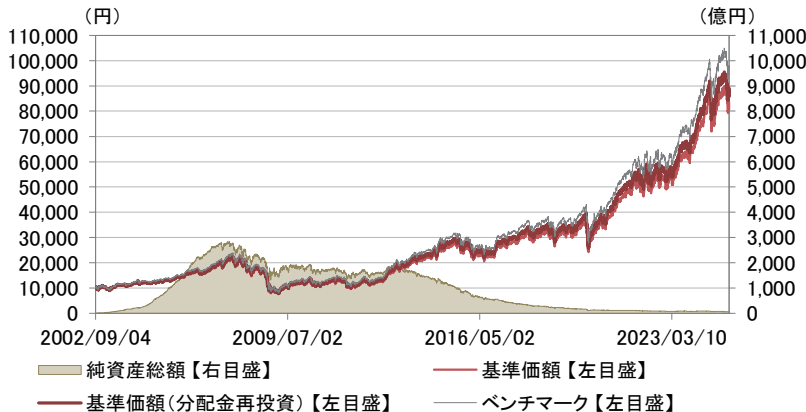
設定日 2002年9月4日

信託期間 無期限

決算日 毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)

信託報酬 純資産総額に対し、年率0.495%(税抜 年率0.45%)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-3.6%	-8.6%	2.8%	6.0%	49.2%	759.4%
ベンチマーク	-3.7%	-8.5%	2.9%	6.3%	50.4%	843.8%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。

・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率
1 ソフトウェア・サービス	9.5%
2 半導体・半導体製造装置	7.8%
3 金融サービス	7.5%
4 資本財	7.2%
5 医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.1%
6 テクノロジ・ハードウェア・機器	6.5%
7 メディア・娯楽	6.4%
8 銀行	6.1%
9 一般消費財・サービス流通・小売り	4.9%
10 エネルギー	4.2%

■組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.0%	5.1%
2 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.1%	4.2%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1%	4.2%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.8%	2.8%
5 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%	2.0%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.7%	1.4%
7 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.2%	1.2%
8 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.2%	1.2%
9 BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	アメリカ	金融サービス	1.1%	1.1%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.0%	1.1%

組入銘柄数: 1,169銘柄

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	80,805円
前月末比	-3.041円
純資産総額	59.54億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.1%
内 現物	98.5%
内 先物	1.6%
コールローン他	-0.1%

■組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	75.0%
2 イギリス	4.0%
3 カナダ	3.2%
4 フランス	3.0%
5 スイス	2.7%
6 ドイツ	2.6%
7 オーストラリア	1.8%
8 オランダ	1.1%
9 スウェーデン	0.9%
10 スペイン	0.8%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Incが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

日本債券型

コード:0409

明治安田生命保険相互会社

・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。

・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 日本債券ファンドVA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。

・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。

また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。

・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-1.09%、設定来で-18.70%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	8,130.29365925	直近1カ月	-1.09%
2025年2月末	8,219.72386608	直近3カ月	-2.69%
2025年1月末	8,283.99076447	直近6カ月	-4.31%
2024年12月末	8,354.82117221	直近1年	-6.14%
2024年11月末	8,374.68392062	直近3年	-12.49%
2024年10月末	8,443.14151448	設定来	-18.70%

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	0	96.1
短期金融資産等	0	3.9
合計	0	100.0

・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。

また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
三菱UFJ 日本債券ファンドVA
(適格機関投資家限定)

設定・運用：
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

三菱UFJ 日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）

設定・運用

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

■商品概要

主要投資対象 日本債券インデックスマザーファンド受益証券(日本の公社債に直接投資することもあります。)

運用方針 ①日本債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(NOMURA—BPI総合指数)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
②日本債券インデックスマザーファンドは、日本の公社債を主要投資対象とします。
③日本の公社債に直接投資することもできます。

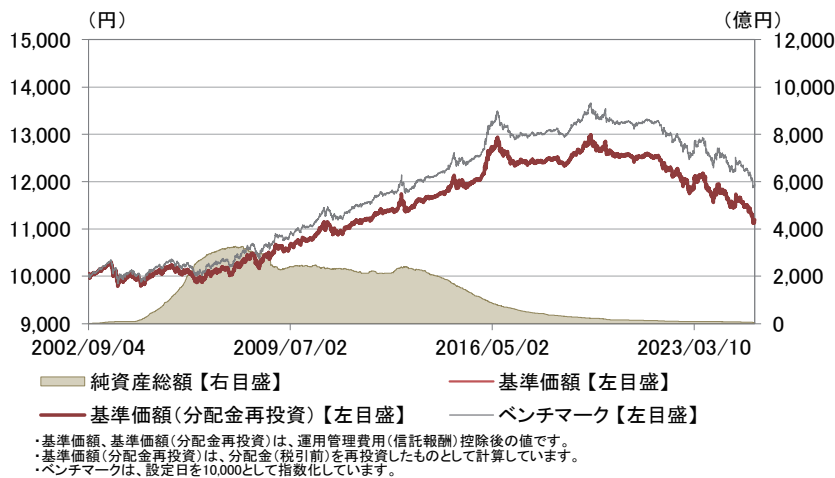
設定日 2002年9月4日

信託期間 無期限

決算日 毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)

信託報酬 純資産総額に対し、年率0.275%(税抜 年率0.25%)

■基準価額および純資産総額の推移



■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.0%	-2.4%	-3.8%	-5.0%	-9.1%	12.0%
ベンチマーク	-1.0%	-2.4%	-3.6%	-4.7%	-8.4%	19.5%

- 実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- 設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- 分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	1.4%
AA格	2.8%
A格	95.8%
BBB格	0.1%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率	ベンチマーク 構成比
3年未満	21.2%	21.5%
3～7年	29.2%	28.7%
7～11年	19.0%	19.0%
11年超	30.8%	30.8%

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	11,186円
前月末比	-114円
純資産総額	50.63億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
設定来累計		10円

■資産構成

	比率
実質国内債券	100.5%
内 現物	100.2%
内 先物	0.3%
コールローン他	-0.5%

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	1.4%
直接利回り	0.8%
デュレーション	8.6

■種別組入比率

種別	比率
国債	84.8%
地方債	5.5%
政府保証債	1.1%
金融債	0.3%
事業債	6.6%
円建外債	0.4%
MBS	1.4%
ABS	0.1%

■組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
組入銘柄数: 968銘柄				
1 第149回利付国債(5年)	国債	0.0050%	2026/09/20	1.2%
2 第365回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/12/20	1.1%
3 第374回利付国債(10年)	国債	0.8000%	2034/03/20	1.1%
4 第373回利付国債(10年)	国債	0.6000%	2033/12/20	1.1%
5 第359回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2030/06/20	1.1%
6 第154回利付国債(5年)	国債	0.1000%	2027/09/20	1.1%
7 第361回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2030/12/20	1.1%
8 第358回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2030/03/20	1.0%
9 第370回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2033/03/20	1.0%
10 第372回利付国債(10年)	国債	0.8000%	2033/09/20	1.0%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・格付はR&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。なお、付加記号(十、一、二、三)を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA—BPI総合指数とは、野村フィデューシヤリーサービス&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的所有権およびその他の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

外国債券型

コード:0411

明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国債券ファンドVA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。
- ・また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+0.88%、設定来で+59.47%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	15,947.32709143	直近1カ月	+0.88%
2025年2月末	15,807.93667712	直近3カ月	-3.37%
2025年1月末	16,149.11564971	直近6カ月	+1.15%
2024年12月末	16,503.52150242	直近1年	-0.10%
2024年11月末	16,036.23412541	直近3年	+9.57%
2024年10月末	16,392.14553486	設定来	+59.47%

- ・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
- ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	28	98.6
短期金融資産等	0	1.4
合計	29	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。
- ・また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
三菱UFJ 外国債券ファンドVA
(適格機関投資家限定)
設定・運用：
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害1割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

商品概要

主要投資対象	外国債券インデックスマザーファンド受益証券(外国の公社債に直接投資することもあります。)
運用方針	①外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②外国債券インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の公社債に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.385%(税抜 年率0.35%)

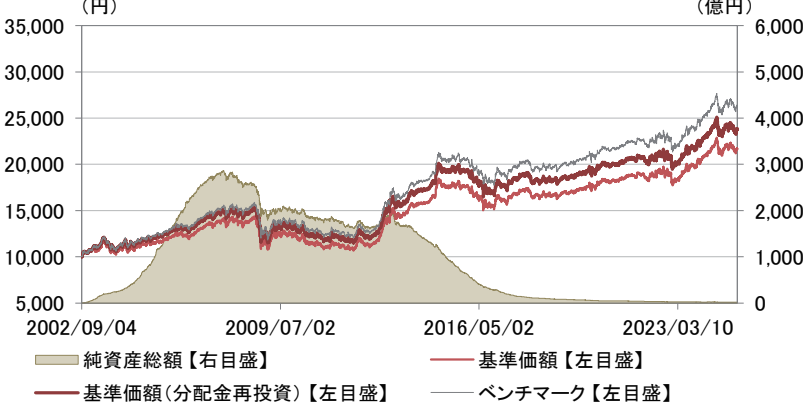
基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	21,635円
前月末比	+218円
純資産総額	18.76億円

分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
設定来累計		1,150円

基準価額および純資産総額の推移



資産構成

	比率
実質外国債券	99.2%
内 現物	99.2%
内 先物	0.0%
コールローン他	0.8%

ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.5%
直接利回り	2.9%
デュレーション	6.3

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.0%	-3.1%	1.9%	1.4%	14.6%	137.4%
ベンチマーク	0.9%	-3.0%	2.1%	1.7%	16.0%	162.4%

残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.9%
1～3年	27.8%
3～5年	20.9%
5～7年	13.6%
7～10年	13.4%
10年以上	22.6%

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	47.0%
2 中国	11.1%
3 フランス	7.4%
4 イタリア	6.8%
5 ドイツ	5.3%
6 イギリス	5.3%
7 スペイン	4.4%
8 カナダ	1.9%
9 ベルギー	1.5%
10 オランダ	1.2%

組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	47.2%
2 ユーロ	29.6%
3 中国元	11.2%
4 英ポンド	5.3%
5 カナダドル	2.0%
その他	4.7%

組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 3.5 T-NOTE 290930	国債	3.5000%	2029/09/30	アメリカ	0.6%
2 1.625 T-NOTE 290815	国債	1.6250%	2029/08/15	アメリカ	0.5%
3 4 T-NOTE 340215	国債	4.0000%	2034/02/15	アメリカ	0.5%
4 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.5%
5 1.375 T-NOTE 311115	国債	1.3750%	2031/11/15	アメリカ	0.5%
6 4.375 T-NOTE 340515	国債	4.3750%	2034/05/15	アメリカ	0.5%
7 3.875 T-NOTE 340815	国債	3.8750%	2034/08/15	アメリカ	0.5%
8 4.125 T-NOTE 271115	国債	4.1250%	2027/11/15	アメリカ	0.5%
9 4.125 T-NOTE 321115	国債	4.1250%	2032/11/15	アメリカ	0.5%
10 4.5 T-NOTE 331115	国債	4.5000%	2033/11/15	アメリカ	0.4%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・組入通貨比率は、為替予約等を含めた実質的な比率です。・FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

特別勘定の運用概況

2025年3月31日現在

マネー型

コード:0412

明治安田生命保険相互会社

・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

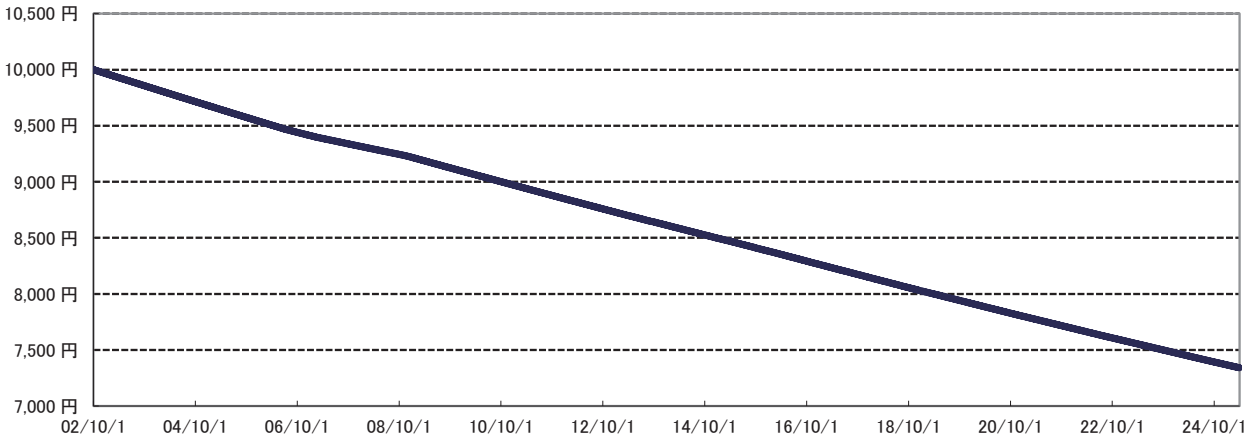
・「一時払変額個人年金保険(災害1割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。

・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定資産の運用は、コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。
- ・運用方針に従い、コールローン等の短期金融資産に投資しました。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.12%、設定来で-26.59%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2025年3月末	7,340.89781647	直近1カ月	-0.12%
2025年2月末	7,349.72415710	直近3カ月	-0.35%
2025年1月末	7,357.69633574	直近6カ月	-0.70%
2024年12月末	7,366.52267638	直近1年	-1.42%
2024年11月末	7,375.34901702	直近3年	-4.19%
2024年10月末	7,383.89063699	設定来	-26.59%

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

区分	金額(百万円)	比率(%)
投資信託	0	0.0
短期金融資産等	0	100.0
合計	0	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。
- また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

お問い合わせ、ご照会は

募集代理店

引受保険会社

明治安田生命保険相互会社

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

電話 03(3283)8111〔代表〕

ホームページ <https://www.meijiyasuda.co.jp/>